



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成27年7月28日

上場会社名 日立金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5486 URL <http://www.hitachi-metals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 高橋 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 河野 寿子 TEL 03-5765-4075
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	265,113	19.2	48,699	104.2	49,493	111.1	35,387	71.5	35,235	72.5	39,634	94.3
27年3月期第1四半期	222,375	-	23,845	-	23,442	-	20,629	-	20,425	-	20,395	-

本ページ以外では「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しています。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	82.40	-
27年3月期第1四半期	47.76	-

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	1,098,672	510,099	500,221	45.5	1,169.88
27年3月期	1,083,450	476,176	466,359	43.0	1,090.64

本ページ以外では「親会社の所有者に帰属する持分」を「親会社株主持分」と表示しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	10.00	-	13.00	23.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期（予想）	-	13.00	-	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	540,000	20.4	66,000	66.3	65,500	60.0	47,000	48.4	109.92
通期	1,100,000	9.5	107,000	26.8	106,000	22.7	73,000	3.4	170.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	428,904,352株	27年3月期	428,904,352株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,320,727株	27年3月期	1,303,157株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	427,589,766株	27年3月期1Q	427,653,212株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) セグメント情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復傾向が続くものの、先行き不透明感が表れ始めました。米国は、景気の緩やかな回復が続きました。アジア地域においては、中国は景気拡大の速度が鈍化し始め、韓国は景気持ち直しの動きが弱まりました。台湾においても景気の減速傾向が見られました。欧州は、全体として緩やかな持ち直し傾向が続きましたが、ギリシャの債務問題による金融不安が懸念されました。一方、わが国経済は、円安の長期化に伴う製造業の国内生産回帰への動きが一部でみられたものの、国内自動車生産の低迷や輸出の不振、これに伴う鉄鋼の減産等により先行き不透明感が強まりました。

当社グループの関連業界では、自動車は、国内は受注残解消等による減産の継続により低調に推移しました。海外は米国の需要は堅調に推移したものの、欧州や中国、新興国の一部地域で景気減速の影響もあり、全体として先行き不透明感が増しました。携帯電話は、スマートフォンの需要が緩やかな傾向となり、パソコンは需要が低調に推移しましたが、家電は堅調に推移しました。鉄鋼は、国内需要は、産業機械向けが堅調に推移したものの、自動車販売や建設需要減少の影響もあり、生産は減少しました。国内住宅着工は、持ち直しつつありますが、公共投資は低調に推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、2014年11月10日付での Waupaca Foundry, Inc. の連結子会社化等による影響もあり、前年同期に比べ売上収益は、19.2%増の265,113百万円、営業利益は、24,854百万円増の48,699百万円となりました。営業利益の増加は主に、売上総利益の増加に加え、その他の収益として日立ツール株式会社（現 三菱日立ツール株式会社）の発行済株式総数の51%に相当する株式を、三菱マテリアル株式会社に2015年4月1日付で譲渡したこと等により、事業再編等利益29,073百万円を計上したことによるものです。税引前四半期利益は、前年同期比26,051百万円増の49,493百万円、親会社株主に帰属する四半期利益は、前年同期比14,810百万円増の35,235百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。各セグメントの売上収益は、セグメント間の内部売上収益を含んでおりません。

高級金属製品

当セグメントの売上収益は、前年同期比2.6%増の63,627百万円となりました。また、セグメント利益は、2015年4月1日付で、日立ツール株式会社（現 三菱日立ツール株式会社）の株式を譲渡したことに伴う事業再編等利益25,931百万円を計上したこともあり、前年同期比26,304百万円増加し、34,891百万円となりました。

特殊鋼については、工具鋼は、中国、ASEAN向けで調整が見られるものの、国内向けは好調な設備投資需要等を背景に堅調に推移し、また高付加価値品への製品構成のシフトにより、前年同期比で増加しました。電子材料は、スマートフォンやタブレット端末向けは需要堅調であるものの、半導体等パッケージ材料、ディスプレイ関連材料共に調整が継続し、前年同期を下回りました。産業機器材料は、自動車関連材料に一部調整が見られるものの、環境親和製品が底堅く、その他産業部材の海外向けも堅調に推移した結果、増加しました。航空機関連材料およびエネルギー関連材料については、堅調な需要動向が続いたことに加え、2015年3月期第2四半期連結会計期間から日立金属MMCスーパーアロイ株式会社が連結子会社となったことに伴う業績反映もあり、増加しました。

ロールについては、各種ロールについては、国内外の需要が堅調に推移し増加しました。射出成形機用部品については、スマートフォンやタブレット端末向け需要が堅調に推移し前年同期並みとなりました。

アモルファス金属材料については、主要市場の中国市場で持ち直し傾向が見られたものの、不透明な需要状況が続いており、前年同期と比較すると減少しました。

磁性材料

当セグメントの売上収益は、前年同期比7.6%減の31,679百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比1,342百万円減少し、2,915百万円となりました。

マグネットについては、希土類磁石は、国内外の電動パワーステアリングなどの自動車用電装部品、FAおよびスマートフォン関連の需要が堅調に推移したものの、国内および米国向けハイブリッド自動車において需要調整の影響が継続したことから前年同期を下回りました。フェライト磁石は、自動車用電装部品および家電用品の需要が国内、海外ともに好調に推移し増加しました。

軟質磁性材料およびその応用品については、フェライト応用品は太陽光発電用部品向けの需要が低調となったものの、フェライトコアは自動車用電装部品およびスマートフォン向けを中心に需要が堅調に推移しました。フェインメットは自動車用電装部品向けの需要減及びエアコンの生産調整により需要が低調に推移しました。

高級機能部品

当セグメントの売上収益は、前年同期比103.0%増の95,456百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比4,094百万円増加し、7,572百万円となりました。

自動車用鋳物については、高級ダクタイル鋳鉄製品は、米国を中心とした海外の自動車における旺盛な需要が続き、国内需要も堅調に推移したことから増加しました。耐熱鋳造部品は、米国の需要が堅調に推移したものの、主要市場である欧州において需要調整の影響を受け前年同期比で減少しました。アルミホイールは、国内および米国の需要が堅調に推移し、前年同期比で増加しました。また、これらに加え、2014年11月からWaupaca Foundry, Inc. が連結子会社となったことに伴う業績反映により、自動車用鋳物全体として、前年同期比で大幅増加となりました。

配管機器については、各種管継手は、国内は住宅着工戸数が増加傾向に転じました。米国は需要が堅調に推移したものの、建設工事の遅れによる影響等により前年同期並みとなりました。ステンレスおよびプラスチック配管機器は、耐震対策需要が一服したことから、前年同期並みとなりました。

電線材料

当セグメントの売上収益は、前年同期比8.2%減の73,267百万円となりました。また、セグメント利益は前年同期比3,877百万円減少し、4,978百万円となりました。

電線については、事業ポートフォリオ見直しに伴い売上収益が減少したものの、注力分野である鉄道車両用電線が中国市場向けを中心に好調に推移し、医療用プローブケーブルもグローバル市場で堅調に推移しました。また、工作機械向けを中心とした需要が堅調に推移しました。

自動車部品においては、北米を中心とした自動車の旺盛な需要が続いたことにより、車載センサーなど電装部品を中心とした需要が好調に推移しました。

情報システムについては、通信事業者の設備投資が調整局面を迎えたことにより、ネットワーク機器、ワイヤレスシステムともに需要が低調に推移しました。

その他

当セグメントの売上収益は、前年同期比49.7%増の1,929百万円となりました。また、セグメント利益は、前年同期比181百万円減少し、80百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動並びに投資活動の結果得られた資金が財務活動で使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ32,420百万円増加し、111,449百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動に関するキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、23,806百万円となりました。これは主に四半期利益が35,387百万円あったこと等によるものです。

(投資活動に関するキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、17,772百万円となりました。これは主に日立ツール株式会社(現 三菱日立ツール株式会社)の発行済株式総数の51%に相当する株式を、三菱マテリアル株式会社に2015年4月1日付けで株式を譲渡したこと等により、有価証券等の売却による収入が27,006百万円あったこと、一方で有形固定資産の取得による支出が12,503百万円あったこと等によるものです。

(財務活動に関するキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、9,864百万円となりました。これは主に長期借入債務の償還が6,709百万円、配当金の支払いが5,676百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、北米を中心とした自動車関連製品や産業インフラ関連製品を中心として堅調に推移しました。今後も不透明な事業環境が続くものと予想されますが、2016年3月期(2015年4月1日~2016年3月31日)の通期業績予想につきましては、2015年6月23日公表の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	79,029	111,449
売上債権	220,547	211,809
棚卸資産	166,486	168,702
その他の流動資産	49,989	48,511
小計	516,051	540,471
売却目的で保有する資産	28,569	—
流動資産合計	544,620	540,471
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	24,892	38,173
有価証券及びその他の金融資産	18,411	25,292
有形固定資産	299,669	304,223
のれん及び無形資産	160,269	161,478
繰延税金資産	15,918	12,797
その他の非流動資産	19,671	16,238
非流動資産合計	538,830	558,201
資産の部合計	1,083,450	1,098,672

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	32,039	34,882
償還期長期債務	29,235	29,640
その他の金融負債	30,765	28,089
買入債務	178,614	177,104
未払費用	41,986	36,617
前受金	2,520	3,512
その他の流動負債	4,955	10,785
小計	320,114	320,629
売却目的で保有する資産に関する負債	10,264	—
流動負債合計	330,378	320,629
非流動負債		
長期債務	194,076	188,587
その他の金融負債	2,415	1,309
退職給付に係る負債	63,007	59,626
繰延税金負債	11,540	11,520
その他の非流動負債	5,858	6,902
非流動負債合計	276,896	267,944
負債の部合計	607,274	588,573
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	115,805	115,805
利益剰余金	277,856	307,694
その他の包括利益累計額	47,519	51,578
自己株式	△1,105	△1,140
親会社株主持分合計	466,359	500,221
非支配持分	9,817	9,878
資本の部合計	476,176	510,099
負債・資本の部合計	1,083,450	1,098,672

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
売上収益	222,375	265,113
売上原価	△172,685	△213,927
売上総利益	49,690	51,186
販売費及び一般管理費	△30,287	△31,391
その他の収益	5,327	30,261
その他の費用	△885	△1,357
営業利益	23,845	48,699
受取利息	231	151
その他の金融収益	91	974
支払利息	△642	△901
その他の金融費用	△352	—
持分法による投資利益	269	570
税引前四半期利益	23,442	49,493
法人所得税費用	△2,813	△14,106
四半期利益	20,629	35,387
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	20,425	35,235
非支配持分	204	152
四半期利益	20,629	35,387
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益		
基本	47.76円	82.40円
希薄化後	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期利益	20,629	35,387
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	334	△259
持分法のその他の包括利益	△37	1,433
純損益に組み替えられない項目合計	297	1,174
純損益に組み替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,145	3,155
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値 の純変動額	△67	645
持分法のその他の包括利益	681	△727
純損益に組み替えられる可能性のある項目 合計	△531	3,073
その他の包括利益合計	△234	4,247
四半期包括利益	20,395	39,634
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	20,224	39,456
非支配持分	171	178
四半期包括利益	20,395	39,634

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	親会社 株主持分 合計	非支配 持分	資本の部 合計
2014年4月1日	26,284	115,591	215,603	15,749	△1,010	372,217	10,623	382,840
変動額								
四半期利益	—	—	20,425	—	—	20,425	204	20,629
その他の包括利益	—	—	—	△201	—	△201	△33	△234
親会社株主に対する配当金	—	—	△4,277	—	—	△4,277	—	△4,277
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	△112	△112
自己株式の取得	—	—	—	—	△9	△9	—	△9
自己株式の売却	—	—	—	—	0	0	—	0
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	△161	△161
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	4	4
変動額合計	—	—	16,148	△201	△9	15,938	△98	15,840
2014年6月30日	26,284	115,591	231,751	15,548	△1,019	388,155	10,525	398,680

当第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	親会社 株主持分 合計	非支配 持分	資本の部 合計
2015年4月1日	26,284	115,805	277,856	47,519	△1,105	466,359	9,817	476,176
変動額								
四半期利益	—	—	35,235	—	—	35,235	152	35,387
その他の包括利益	—	—	—	4,221	—	4,221	26	4,247
親会社株主に対する配当金	—	—	△5,559	—	—	△5,559	—	△5,559
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	△117	△117
自己株式の取得	—	—	—	—	△35	△35	—	△35
自己株式の売却	—	—	—	—	0	0	—	0
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	162	△162	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
変動額合計	—	—	29,838	4,059	△35	33,862	61	33,923
2015年6月30日	26,284	115,805	307,694	51,578	△1,140	500,221	9,878	510,099

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	20,629	35,387
四半期利益から営業活動に関するキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	8,614	10,646
減損損失	81	—
持分法による投資利益(△は益)	△269	△570
金融収益及び金融費用(△は益)	672	△224
事業再編等損益(△は益)	△3,937	△28,682
法人所得税費用	2,813	14,106
売上債権の増減(△は増加)	7,204	11,644
棚卸資産の増減(△は増加)	△7,078	△1,973
未収入金の増減(△は増加)	1,560	△1,901
買入債務の増減(△は減少)	4,824	△2,816
未払費用の増減(△は減少)	△3,571	△5,215
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	△2,557	△3,838
その他	△3,682	539
小計	25,303	27,103
利息及び配当金の受取	312	751
利息の支払	△673	△1,353
リストラクチャリング費用の支払	△681	△64
法人所得税等の支払	△6,443	△2,631
営業活動に関するキャッシュ・フロー	17,818	23,806
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△7,650	△12,503
無形資産の取得	△857	△1,050
有形固定資産の売却	332	272
有価証券等(子会社及び持分法で会計処理されている投資を含む)の取得による収支(△は支出)	3	△115
有価証券等(子会社及び持分法で会計処理されている投資を含む)の売却による収支(△は支出)	△254	27,006
事業の譲渡	9,678	1,023
事業の譲受	△1,900	—
その他	533	3,139
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△115	17,772

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減 (△は減少)	2,592	2,556
長期借入債務の償還	△1,000	△6,709
配当金の支払	△4,277	△5,559
非支配持分株主への配当金の支払	△112	△117
自己株式の取得	△9	△35
財務活動に関するキャッシュ・フロー	<u>△2,806</u>	<u>△9,864</u>
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△294	706
現金及び現金同等物の増減 (△は減少)	<u>14,603</u>	<u>32,420</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>92,911</u>	<u>79,029</u>
現金及び現金同等物の期末残高	<u><u>107,514</u></u>	<u><u>111,449</u></u>

- (5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報

I それぞれの報告セグメントに含まれる主な製品・サービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼 [YSSヤスキハガネ] (工具鋼、電子材料<ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料>、産業機器材料<自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料>、剃刀材および刃物材)、精密鋳造品、各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミック部品、鉄骨構造部品、アモルファス金属材料 [Metglas®]
磁性材料	マグネット (希土類磁石 [NEOMAX®]、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品)、軟質磁性材料 (ソフトフェライト、ナノ結晶軟磁性材料 [ファインメット®]) 及びその応用品、アモルファス金属材料 [Metglas®] 応用品、情報通信機器材料・部品、医療機器用材料・部品
高級機能部品	自動車用鋳物 (高級ダクタイル鋳鉄製品 [HNM®]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品 [ハーキュナイト®])、アルミホイール [SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品、設備配管機器 (®印各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨脹タンク)
電線材料	電線 (電力・産業システム、電子・通信材料、電機材料、工業用ゴム部品)、自動車部品 (電装部品、ブレーキホース)、情報システム (情報ネットワーク、ワイヤレスシステム)

II 前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
	高級金属製品	磁性材料	高級機能部品	電線材料	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	61,116	34,259	46,738	79,624	221,737	638	222,375	—	222,375
セグメント間の内部売上収益	873	9	291	147	1,320	651	1,971	△1,971	—
計	61,989	34,268	47,029	79,771	223,057	1,289	224,346	△1,971	222,375
セグメント利益	8,587	4,257	3,478	8,855	25,177	101	25,278	△1,433	23,845
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	322
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△994
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	—	—	269
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	23,442

- (注) 1. セグメント利益は営業利益で表示しております。
2. セグメント間取引は独立企業間価格で行っております。セグメント利益の「調整額」には主として報告セグメントに帰属しない全社の一般管理費が含まれております。

Ⅲ 当第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	要約四半期 連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	磁性材料	高級機能 部品	電線材料	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	63,502	31,680	95,453	73,206	263,841	1,272	265,113	—	265,113
セグメント間の内部売上収益	125	△1	3	61	188	657	845	△845	—
計	63,627	31,679	95,456	73,267	264,029	1,929	265,958	△845	265,113
セグメント利益又は損失(△)	34,891	2,915	7,572	4,978	50,356	△80	50,276	△1,577	48,699
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,125
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△901
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	—	—	570
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	49,493

(注) 1. セグメント利益又は損失は営業利益で表示しております。

2. セグメント間取引は独立企業間価格で行っております。セグメント利益又は損失の「調整額」には主として報告セグメントに帰属しない全社の一般管理費が含まれております。